

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松濤会	代表者	松本 定信	法人・ 事業所 の特徴	海と山が見える立地にあり、登録は29名、通い18名、宿泊9名の施設です。通いサービスを中心に宿泊・訪問サービスを柔軟に組み合わせ、家庭的な雰囲気の中、顔なじみの職員が対応することで、住み慣れた自宅での生活を支援しています。座位浴とチェアーインバスがあり、利用者様の状態・希望に合わせてご利用できます。またカラオケや車いすダンスなどの余暇活動も充実しています。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所 銀砂台 「本宮町クラブ」	管理者	石川 美也子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	1人	人	人	人	6人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	感染症マニュアルを全職員が理解し、慌てる事なく行動が出来る様努力する。	発熱者が出た場合のゾーニングし、勉強会を行い演習もおこなうことが出来た。	感染防止対策としては、これまで通りの対応をかえずに継続していく事が大事になってくるかと思えます。	ミーティングや勉強会の担当をローテーションにすることで、職員の発言の機会を増やし、利用者の状況を把握することでサービスの向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症予防に努めながら、利用した際には一日を楽しく過ごして頂けるよう努力する。	感染症が落ち着いている時期は、外出することができた。拡大している時期には、室内での行事や近所への散歩等を行った。	コロナ禍の中、利用者に楽しく過ごしてもらえるように努力している様子がうかがえる。	プランター農園の手入れや調理等楽しみを持つことができるよう努力する。
C. 事業所と地域のかかわり	これまで以上に地域の方々との関係性を大切にするため、挨拶や感染症が落ち着いた際には、行事への声掛けも行う	コロナ禍外出する機会が少なかったため、近所への挨拶や送迎時の挨拶は行うことが出来た。行事は外部の人を呼ぶことができなかった。	コロナ禍のため利用者様が気軽に会話や相談できる雰囲気も必要。	新型コロナの状況により、地域の方が訪れることができるよう努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	独居生活が継続できるよう、民生委員等への連絡などの連携ができるよう努力する。	新規利用者があった際には、民生委員の方へ連絡をすることができた。	コロナの拡大状況によっては、地域に出向かわなくても利用者主体での活動を行っていただければいいと思う。	利用者が一日を楽しんで頂ける事業所内で行える行事が充実できるよう努める。

E. 運営推進会議を活かした取組み	連絡帳をもうけ些細なことでも報告し職員間での共有ができるよう努力する。	細かなことでも連絡帳に記載したことにより、忘れてしまったことも確認することができた。	成年後見人制度の勉強会を行う予定があるのであれば、講師の紹介や制度についての説明等の協力をします。	成年後見人制度の勉強会を行い知識を深めることができるよう努力する。
F. 事業所の 防災・災害対策	感染症も踏まえた訓練を行い、全職員が自分の担当を理解でき迅速に行動できるよう努力する。	感染症を想定した訓練を行うことができた。	夜間を想定した訓練を行った方が良いと思います。	夜間想定避難訓練、事業継続を想定した演習を行い全職員が同じ対応ができるよう努力する。

